

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	老年看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	実習施設
担 当 教 員	中村 裕子	実務経験とその関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。			
《授業科目における学習内容》						
地域、施設、病院実習を通して老年期にある人の生活の実際を知る。また、対象とのコミュニケーションを体験し、老年期の特徴と加齢現象を踏まえた関りや対象を尊重した態度を身につける。そして、地域、施設など多様な場でのチーム医療を通して看護の役割について考えるとともに、看護学生として基本的な実習態度を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
実習態度、出席状況、学習内容、コミュニケーション、看護技術等により総合的に判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院) プチナース老年看護 ぜんぶガイド(照林社)						
《授業外における学習方法》						
実習オリエンテーション(①実習要項説明 ②実習記録について ③実習マナー ⑤カンファレンスについて ⑥実習事前学習 ⑦目標達成シートの記載)を実施し、実習準備を行う。 実習後は、実習の学びをまとめる。						
《履修に当たっての留意点》						
実習要項をよく読んで、到達目標や実習内容について理解するとともに、必要な事前学習をして臨む。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域で生活している高齢者の現状を知る。		所持している教科書・参考書、事前学習	実習要項を読み、地域実習で何を学ぶのかをイメージする。地域の取組みについての学習。
		各コマにおける授業予定	介護予防教室・イベントなどに参加し、共に活動する。高齢者を尊重した態度でコミュニケーションをとる			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	デイケア、デイサービスの機能、役割、対象者の特徴について知る。		所持している教科書・参考書、事前学習	デイケア、デイサービスの機能、役割、対象者の特徴についての学習。
		各コマにおける授業予定	デイケア、デイサービスを利用した対象の援助を見学する			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	病院・病棟・施設の構造と機能、役割、対象者の特徴について知る。		所持している教科書・参考書、事前学習	実習要項を読み、病院・施設実習で何を学ぶのかをイメージする。病院・施設の機能や役割、対象者の特徴についての学習。
		各コマにおける授業予定	看護師に同行し、日常生活援助など様々な看護活動の見学や援助を一緒に行う			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	老年期にある対象の生活史や価値観を理解し、尊重した態度がとれる。		所持している教科書・参考書、事前学習	高齢者とのコミュニケーション、生きてきた時代背景などについての学習。利用者の介護度や疾患、症状について学習。
		各コマにおける授業予定	老年期にある対象者とコミュニケーションをとり、既習知識・技術を活用しながら対象にあった方法を実践する			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	実習のリフレクション。		所持している教科書・参考書、事前学習	評価表 自己評価
		各コマにおける授業予定	実習を振り返り、学びを深める			